

# ゴキゲン中飛車対策 2025.12.27

## 2手目 34歩 角交換(丸山ワクチン風)

基本図 63銀まで

- ▲56歩 △34歩
- ▲58飛 △84歩
- ▲76歩 △88角成
- ▲同銀 △14歩
- ▲16歩 △32銀
- ▲48玉 △62銀
- ▲38玉 △64歩
- ▲77銀 △63銀



先手ゴキゲン中飛車に対する後手居飛車での対策(角交換)となります。

2手目 34歩

初手 56 歩でゴキゲン中飛車の可能性が高いです。今回は角交換型にするため角道を開けます。

4手目 84歩

76 歩を突かせるために 84 歩と突きます。

6手目 88角成

55 歩と突かれる前に角交換します。

8手目 14歩

角交換型はまず 14 歩を突きます。丸山ワクチン風としたのは本来居飛車対後手ゴキ中での角交換後の 96 歩が丸山ワクチンだからです。後手居飛車でも対応できるようにあえて後手番で紹介しています。

10手目 32銀

ここで 55 歩なら 45 角と打って居飛車優勢です。22 角には 13 香と逃げれます。その為の 14 歩です。

12手目 62銀

55 歩の時に 63 銀型を作れるように 62 銀と上がります。ここでも 55 歩は 45 角です。

14手目 64歩

38玉と寄って囲いながら 45 角を防いでいます。ここで 55 歩なら 63 銀が間に合います。

16手目の 63 銀までを基本図とします。ここから先手は 88 飛と向かい飛車にすると 5 筋のまま駒組みを進める2つのパターンがありますが、どちらも基本的には同じ形で大丈夫です。85 歩は少し後に保留しておくと、88 飛～86 歩～86 銀みたいな逆棒銀を防げます。

## 角交換振り飛車の理想形とは？

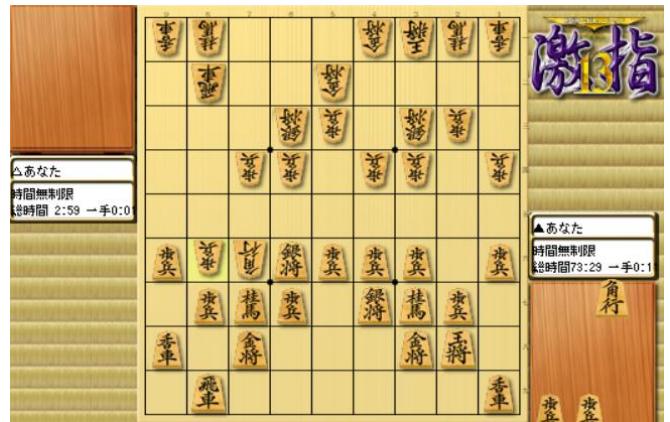
角交換型にした場合は、ゴキゲン中飛車というより角交換振り飛車になり、右のような形になります。  
角交換振り飛車には結構苦手な居飛車党も多い印象がありますが、角換わりを普段から指す人であれば抵抗感は少ないかと思います。

この将棋では居飛車は 76 の地点を角で狙っていきます。



### 63 銀以降の指し方

- △63 銀 ▲28 玉
- △52 金右 ▲38 銀
- △42 玉 ▲78 金
- △31 玉 ▲59 飛
- △44 歩 ▲66 銀
- △74 歩 ▲77 桂
- △85 歩 ▲46 歩
- △33 銀 ▲47 銀
- △43 角 ▲89 飛
- △76 角 ▲38 金
- △94 歩 ▲36 歩
- △95 歩 ▲37 桂
- △96 歩 ▲同歩
- △98 歩 ▲同香
- △86 歩



一例ですが、このような感じで 76 角から 8・9 筋を攻めていくと 8 筋の突破ができます。

ゴキゲン中飛車に対しては 2 枚銀か角交換に持ち込むのが個人的には良いと思っています。  
実際には変化図はかない多いので、その中でも基本的な形のみの紹介になります。  
全部の定跡を覚えるのは大変ですが、1 つのパターンを覚えることでそこから色々な変化も覚えていくことができます。まずはこの基本形を覚えて、そこから変化されたらどうしていくかを少しづつ覚えていくと定跡を覚えるのが楽しくなります。